



# わかとりクラブ鳥取

## ～とっとり県老連だより～

第31号

■会員数 38,373人  
 ■クラブ数 791クラブ  
 平成27年4月現在  
 ■公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会  
 〒689-0201  
 住所 鳥取市伏野1729番地5  
 県立福祉人材研修センター内  
 TEL0857-59-6351 FAX0857-59-6340  
<http://www.fuumon.sakura.ne.jp>



鳥取県老連は創立50周年の節目の年を乗り切って前進しようとする努力を続けています。風通しの良い組織にと26年から若手委員長を理事に加え、総会出席者も理事選出市町村は理事以外の代表者に参加してもらっています。

提言、提案もいただき27年度中には検討を終わって28年度から実施できるようにしたいと思っています。

超高齢化ということもあって各クラブとも会員減少が続いていることはご承知の通りです。全老連は百万人、県老連は8千人増の目標を立て、若手委員、女性委員を中心に頑張っています。目標達成の方法は1クラブが3人増を3年継続しようという運動です。『1・3・3・3』です。

右肩下がりの会員数を少しでも食い止め、次の世代へ胸を張ってバトンが渡せるように。



### 会員8千人増を 成功させよう

鳥取県老人クラブ連合会  
 会長 沖田博敬

#### 県老連役員名簿

(任期：平成28年定時総会  
 終了時まで)

- ◆理事13名
- 会長 沖田 博敬
  - 副会長 門脇 眞澄
  - 副会長 山下 宣昭
  - 副会長 知久馬二三子
  - 常務理事 前田 恵
  - 理事 木村 定雄
  - 理事 小林 正樹
  - 理事 田中 潔
  - 理事 高橋 健治
  - 理事 竹内準太郎
  - 理事 相見 寿子
  - 理事 山本 充延
  - 理事 佐々木千代子
- ◆監事2名
- 監事 藤原 源市
  - 監事 浜崎 幸子



平成27年度

## 地域活動リーダー育成研修会

県老連若手委員会

委員長 山本 充延

地域活動リーダー育成研修会を八月二十五日、二十六日の二日間（泊研修）、三朝町の「ブランナールみささ」において行いました。

台風15号の影響で風雨が激しく参加の方の足を心配しましたが、予定通り開催できました。（参加者59名）

沖田会長の開催あいさつのもと、全国老人クラブ連合会実施の平成二十七年「活動賞」及び「100万人会員増強運動特別賞」の表彰を行いました。鳥取県では「境港市ことぶきクラブ連合会」が、活動賞の「ボランティア活動部門」並びに「100万人会員増強運動特別賞」を受賞され、沖田会長より境港市の門協会長へ表彰状が伝達されました。

理事で、組織のあり方について検討会が行われました。他の参加者は六グループに分かれグループ討議を行いました。テーマは①会員加入促進について②地域における活動についての二テーマから選ぶこととしました。司会と記録を互選のち九十分の討議を重ね、



グループ意見をまとめていただきました。老連副会長、若手委員長、女性委員長等の地域で中心となって活動している方々であり、活動内容や問題点等を挙げていく中で自分の地区でもやってみよう、こういうことで解決できないかと、充実した討議結果となりました。リフレッシュのため、健康づくり推進員の高塚勝氏にご指導いただき体操を行いました。その後、各グループでまとめた意見を順番に発表していただき、各グループの発表を更に県若手委員会のメンバーがまとめとして報告いたしました。各市町村連合会におかれましては討議内容やグループの発表内容及び若手委員会のまとめの中で活用可能な点は今後の活動に生かしてください。

若手委員会がまとめを行う間に広島で開催された中国・四国ブロック老人クラブリー

ダー研修会で、鳥取市の発表した「若手高齢者の加入促進」について発表しました。グループ討議が終わった後は、交流会を行い、普段話したことのない方とも親睦を深めることができました。

二日目は、いきいきクラブ体操を健康づくり推進員の青山典代氏の指導で音楽に乗りながら楽しく体操を行いました。

講演は、講師に岡山県老人クラブ連合会元監事今中慶一氏を迎



えて「若手を活用した」ゆめおい

クラブの現状とこれからについて「お話ししていただきました。最初に驚いたのは、老人クラブ加入率一〇〇%の数字でした。岡山市西植松は二〇一一年九月の台風により大きな被害を受けました。町内会で安否確認を行ったが、思った以上に手間取ったそうです。新

興住宅地であり、顔の見える仲間になっていないことが理由でした。町内会と話をし未加入の方に声を掛け半年後に全員加入を果たした。施設に入られた方も会員としてお見舞いされたりしているそうです。魅力ある活動に取り組み、毎月誕生会を催し、サロンの活動回数も増やしグラウンドゴルフ、野菜の栽培、ゴルフ等の同好会活動も行っています。会員増強に向けて、自治会・他団体との連携、老人クラブの活動広報に取り組みられています。老人福祉法（昭和三十八年制定）を学ばれたことも重要とのことでした。「地域包括ケアシステム」の構築では、老人クラブが必要とされている他にも沢山の活動紹介があり、書ききれないので仲間を増やすには、老人力・地域力の強化、女性・若手を増やすという提言でした。閉会挨拶を副会長の門協眞澄氏にお願いし、無事に全日程を終わることができました。

若手委員長という大役を受けるに際し、私で務まるか大変心配でしたが、この度の研修会を充実した内容にしていたことで「鳥取県8000人会員増強運動」の礎になればと思います。関係者のご尽力に感謝申し上げます。



各市町村の活動

仲間を増やそう

会員増強運動の取り組み

鳥取市老ク連

常任理事 竹本 英行

鳥取市老連では、会員の減少に歯止めをかける為、平成十八年五月「新規加入促進助成金交付要綱」を独自に定めています。

特に毎年八月〜九月を加入促進強化月間と位置づけて、助成金を増額し、各単老から好評を得ています。

この制度を活用し、さらに「県老連だより」第三十号で提案されている具体的な点検を行って、団塊世代を受け入れて会員増を図りたい。

あなたも参加しませんか!

あなたのこれからの人生を  
魅力ある楽しいものにしましょう

①地域の活動に参加し、地域に貢献ができます  
②たくさんの方との交流が広がります  
③生きがいを見つけることができます  
④健康づくりができます

これから育ててくれた地域に恩返ししましょう

健康 友愛 奉仕

鳥取市老連クラブ連合会  
鳥取市東区三丁目1-10-10 鳥取県庁2F

総力を結集して

「9000人会員増強運動」

目標を達成しよう!!

新戦略

米子市老ク連

会長 木村 定雄

本会標題の会員増強運動も二年



度目に入り、上期が過ぎましたが、執行部は種々課題を抱えながら

も鋭意頑張っています。今年度前半は特に市行政に対して老人福祉法による「老人福祉の増進のためのクラブ会員増強運動事業」とする旨のご理解とご支援を頂くよう、文書持参のうえで上申要望の結果、同意を頂いた一部ご紹介いたしますので、単位ク会長は二人以上純増を目指して努めて頂きたい。

◆米子市くらしの情報「広報よなご七」(無料)掲載啓発。

◆市教委生涯学習課主催「公民館長会議」に木村会長が出席し資料提供で説明した結果、啓発揭示等の理解を得る。

◆市社協機関紙「よなご社協だより」に掲載啓発の理解を得る。

◆市自治連合会「第1回常任委員会」(事務局長)へ資料提供、説明し、啓発回覧等の理解を得る。

◆新規クラブ結成の場合は30名未満の対応措置として市老連会長が会長となる「友愛同志クラブ」を新設。当面17人を新規獲得。仲良く楽しく活動中です。

生活・地域を

豊かにする活動

倉吉市老ク連

会長 中林 正樹

本年度評議員会において、平成

27年度から平成30年度までを運動期間とした「780人会員増強運動」を決定しました。勧誘運動とともに、従来から取り組んでいる次の活動を地域社会に更に知られるようPRし、会員増強を図っていくこととしています。

◆生活を豊かにする活動

・健康学習、体操、各種シニアスポーツ、交通安全・防災・詐欺などの安全意識の高揚、趣味・芸能などのサークル活動ほか

◆地域を豊かにする活動

・友愛訪問、福祉施設等の訪問ボランティア活動、奉仕活動、園児・児童との交流活動、地域文化・民芸等の伝承活動など

魅力ある

老人クラブをめざして

境港市元町クラブ

会長 中田 繁

私たち元町クラブ(会員58名)は、境港市元町にあります。

当クラブの活動は奉仕友愛、教養研修旅行等です。ことぶ

きクラブ連合会の行事にも併せて参加し、

行事が重ならないよう諸行事を企画実行しています。

これまでの主な事業では、



津波避難場所を巡るウォーキング、島根原発見学、放送局と砂の美術館見学旅行などでした。今年度は新聞社と遺跡巡り熊野大社と松江歴史館へのバス旅行。夏にはとこ天作り、冬には餅つきや新年会などの催しで会員の親睦を図り楽しく活動しています。

地域支援活動の原点

岩美町老ク連

会長 日下部 武志



急速に進む高齢化社会の中、地域では子ども達の元気な声が少なく

くなり、地域の存続さえ厳しくなった今こそ、老人クラブで地域を支え、守って行く事が支援活動の原点だと思えます。

会員一人ひとりが、日頃から地域の中心となり、地域に根ざした活動を頑張っている中、若手・女性会員等で、新規会員の勧誘にあたり、会の拡充に力を入れています。

これからもこの老人クラブの活力を生かし、地域に根強い支援事業に取り組みことで、地域の活性化を図ります。

未加入集落の推進

八頭町老ク連

理事 石破 孝行

会員数は減少傾向で、未加入の



要因を考えると、個人の意志によるものと、地区全体が未組織のところがあることです。

個人については、活動内容を説明し、再度働きかけをしています。課題は地区全体が未加入の集落です。この地区の加入推進を老人会役員と区長が共同して組織の必要性に理解を求め、結成の働きかけをしているところです。

要因を考えると、個人の意志によるものと、地区全体が未組織のところがあることです。個人については、活動内容を説明し、再度働きかけをしています。課題は地区全体が未加入の集落です。この地区の加入推進を老人会役員と区長が共同して組織の必要性に理解を求め、結成の働きかけをしているところです。

### 単老会長・女性委員

#### 合同研修

若桜町老ク連

会長 藤原 源市

各クラブ活動リーダー研修事業の一環として、会長・女性委員が共通認識のための研修会を7月27日若桜町公民館(ゆうゆうわかさ)に33名の参加で開催しました。包括支援センターの尾坂明紀氏に「高齢者の健康づくり」について講演していただきました。その後、小林町長・藤原担当課長・鎌谷社会福祉協議会局長と「老人の環境について」意見交換会を実施しました。若桜町の老人人口「65歳以上」約千五百名の実態は、一人暮らし13%、夫婦暮らし47%、実態調査により明確化しており、将来の福祉政策計画に対する老人の意見の反映、



意見交換会を実施しました。若桜町の老人人口「65歳以上」約千五百名の実態は、一人暮らし13%、夫婦暮らし47%、実態調査により明確化しており、将来の福祉政策計画に対する老人の意見の反映、

要望等が多く提案され、今後十分な連携をもとに、政策を行うとの町長のご意見で意見交換会を終えました。

### 「おもしろく楽しい」活動を

智頭町老ク連

副会長 岡田 一

老ク会員が年々少なくなっています。該当対象の人はいっぱいいるのです。これからの老クは「おもしろく楽しいもの」でなくてはなりません。出役が多すぎる、役員にさせられる等が大きな理由とありますが、会員個々もそうした理解の上で運営に当らなくてはならないと思います。



同様に六五歳以上が4分の1超となる我が国では、その社会的責任も自覚しなくてはなりません。働く現役世代との相互理解の上に、社会の幸せと発展に役割分担をしなくてはならないと思います。老人の役割として、GGやゲートボールばかりでなく、時に週一、二日位は社会貢献活動をすべきと思っていますが、「おもしろく楽しい」活動と、あるいは矛盾することかも知れませんが、なかなか妙策はありませんが日々、そんなことを思いながら活動に取り組んでいるところです。

### 退会した会員を呼びもとそう

湯梨浜町高齢者ク連

会長 山下 宣昭

退会した会員を呼びもとそう。湯梨浜町高齢者ク連では八千人会員増を目指していますが、町老ク連では新規会員の加入を求めるとは当然ですが、退会した方の復帰を第一に考えております。町老ク連で最近、七単位クラブ約500人の会員が退会しておられます。そこで町老ク連では町役場、町社会福祉協議会とタイアップして、再加入の促進を図っています。

町役場では、毎年、年度初めに区長との合同会議で未加入(退会したクラブも含む)集落に加入のお願いをしております。町老ク連では社協職員と集落を回り、再加入をお願いしております。

### キュリー祭地域貢献・交流

三朝町老ク連

理事 知久馬 二三子

所属している単位クラブ「湯の町老人クラブ」の活動を紹介したいと思います。湯の町老人クラブでは、地域貢献として三朝町の行事「キュリー祭」にフリーマーケットを出店しています。温泉街の空き店舗を活用し、祭の盛り上げに少しでも貢献できればと始めた活動です。地元の祭参加者や県内外からの観光客、はては海外から来られた方々と交流することができ、会員にとっても刺激になる楽しい活動となりました。

活動となりました。

これも会員同士の親睦を深めながら地域に貢献できる活動を進めていきたいと思います。



フリーマーケットの様子 (この日は外国人が多かった)

### こけないからだ体操

北栄町老ク連

理事 西田 鉄也

当クラブは現在、包括支援センターの指導を受け、「こけないからだ体操」を行っています。こけない体操には、独居高齢者や高齢者夫婦の会員も参加しており、和気あいあいとした状況での活動となっています。



今後は、自主運営となりますが、会員からは、「今までどおり週一回の体操をしよう」との声が多く、この活動を続ける予定です。



### 地域の主役めざして

琴浦町高齢者クク連

会長 田中 明

地域の高齢者が共同して相互に支え合い、楽しみを共にしながら活動を展開し、心豊かで明るく活力に満ちた地域社会を構築して行く活動に取り組んでいます。

近年の活動では「趣味、健康促進活動」に加えて「社会参加、地域貢献活動」の必要性が強く求められています。その現実を認識して広く地域

に果たすべき役割及び健康で生きがいのある活動を求め、地域社会の中心は我々が主役である事を会員に呼び掛けています。

### 魅力ある活動が一番

南部町老ク連

会長 安達 幸男

南部町老ク連は自主運営で『魅力ある活動が一番』を目指しています。

①芸能発表会②健康ウォーキング大会③スポーツ大会④運動会⑤講演会⑥グラウンド・ゴルフ大会⑦ふれあい旅行⑧踊りや合唱の会、



訪問活動などと楽しい事業を実施。広報誌を町内全戸配布して、加入促進に努め、末永いクラブにと取り組んでいます。

### 支え合いで地域を支える

伯耆町老ク連

会長 瀬山 正八郎

我々高齢者の環境は、20年間大変厳しい状況が続きます。要支援、要介護認定者が今年の時点で606万人、前年より22万人の増加、2025年には800万人を超える見込みです。高齢者の問題は可能な限り、元気な高齢者があたるのが求められます。

支え合い活動についてアンケートを取ると、八割の人が支援をして頂いて有難いと回答しています。

これから地域を支えるのは、元気な高齢者です。今、老人クラブは会員の減少に頭を悩ませていますが、地域に貢献することによって、無くてはならない存在と認知されれば、会員減少は解決されると確信しています。今、老人クラブに求められているのは、支え合

い活動をおして地域を支え、高齢者の住みやすい町づくりです。

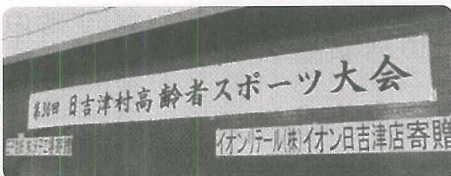
### 健康寿命アップはスポーツ

日吉津村老ク連

会長 高橋 健治

私たち、老人クラブ連合会は、今年も「高齢者スポーツ大会」に主体的立場で参加し、日吉津村在住の高齢者（60歳以上）の方々と共に、楽しい汗を流し、親睦を深めて来ました。

このスポーツ大会は、日吉津村、社会福祉協議会と老人クラブ連合会の三者の共催の大会です。こうした活動の中で、(一)、健康、(二)、友愛とぎすぎなづくり、(三)、地域への貢献を活動の柱とし、各自治会の理解と協力を得ながら、自主的な日々の活動を進めています。自治会活動への積極的参加が、会員増につながると確信し、魅力ある活動を進めています。



### 保育所と世代間交流

大山町老ク連

副会長 杉原 俊雄

地元の保育所との交流事業で、年数回行っています。主な内容は、イチゴ狩り、イモ掘り、栗の収穫、モチつき等です。イチゴ狩りは、今年で十年です。

五月中旬、保育所から1.2キロを手をつなぎ徒歩で二列に並んで畑まで行きます。この畑は、国道9号、JR山陰線の10メートル南方で、3メートルの高台に有り、大山北壁も正面に見える風景の良い所に有ります。イチゴ好きな園児達は収穫の指導を受け、楽しくバケツに入れていきます。そのイチゴを各人が三粒ずつバケツの水で洗い「おいしい」と喜んで食べています。最後に、お礼の歌を披露し、各々のバケツ一杯のイチゴを手にとって帰ります。



### 健康づくり交流大会

日野町老ク連

会長 生田 正明

町内の高齢者等が一堂に会し、健康づくり講習会等を通じて交流を図る事を目的として、町老連が開催しています。

今回は「救急法（心肺蘇生とA



EDの使用方法」を消防署から講師を招いて講演と指導をして頂きました。老人クラブ会員だけではなく町内の方にも声を掛け参加を募りました。町内は高齢者が多く、いざという時に役に立つよう、身に付けておかなければならないという皆さんの意識が高く、人形を使つての実技とAEDの使い方の指導をして頂きました。そして、町内のAEDの置いてある場所の確認もしました。



心肺蘇生の実技の様子

### 休止クラブの再組織化

江府町老ク連若手委員長 加持谷 典範

町老ク連の加入率が60%を切りました。主な原因は、活動休止の単位クラブが増加したためです。そこで理事会等で検討し、本年度の活動は、休止クラブの再組織化に重点を置くこととしました。若手委員会としても、老ク連三役と合同で、休止クラブの集落の自治会長宅を訪問し、活動再開に向けた懇談を実施する準備を進めているところです。

今年度は、町老ク連だよりも若手委員会で発行することになり、新たな視点で啓発活動に取り組みたいと考えています。

## 20年のあゆみ

### バトンをしっかりと次へつなごう

県老連女性委員会

委員長 相見 寿子

男性優位の社会のなかで、女性のパワーを活かす老人クラブを指して設立された女性委員会。全老連と時を同じく平成5年県女性委員会は設立されました。

### 組織づくりとリーダー養成

高橋初代委員長や役員の方々の精力的な活動は、女性委員の意識を高め、市町村老連の理解を深めて、女性の組織作りは進みました。設立10周年では、未設置は2町のみとなり、迎えた20周年。県下全市町村で女性委員会活動は、展開されることになりました。リーダーは組織の重要な要です。

自主企画・自主運営を基本とした女性委員会の活動を通して、女性たちは、多くのことを学び、体験することにより多様な能力を身につけ、活動の場を広げていきました。その結果、男性リーダーの理解も得て、男女共同参画のクラブづくりの歩みは徐々に進み、単位クラブ・老連などへの女性役員の登用も始まりました。

### 20周年を迎えて新たな挑戦

女性のこまやかな気配りは、友愛活動や女性会員の加入を進め、多趣味を活かして楽しいクラブ活動を創りだしました。しかし近年

の会員減少によって、役員の高齢化、後継者難などが生じ、組織の運営に問題がはじめています。

元気袋で発揮された女性パワー！みんなで知恵を出し合つて難問を乗り越え、支え合い活動や新会員の勧誘などに努めましょう。なによりも自分が楽しみながら。

県内各地で若手委員会の活動が始まっています。女性委員会単独の活動も大事ですが、増える高齢者のニーズにこたえるためには、地域の各種団体も含めて、連携・協力が必要な場合があるでしょう。女性委員会活動で培った力に自信を持って、それぞれの活動に積極的に参画しましょう。

県女性委員会は、リーダー研修の充実に努めるとともに、市町村で活発な活動が展開されるよう、情報提供を行っていきます。

## 女性よ立ち上げれ!!

北栄町老ク連

副会長 田中 陽子

老人クラブ会員の6割は女性。会長のもとが男性。会の解散の原因は、高齢化した会長の後継者不足にありとの話も耳にします。これで良いのでしょうか。私達「創健クラブ」は、和やかに、そして心に情熱を滾らせて生き続けたいとの目的のもと、私が自治会長の時、それまでの単位クラブ30人以上という規制を関係

## 活動活性化助成事業

平成27年度活動活性化助成は、6月30日第1回基金管理運営委員会を審議され、左表のとおり助成されることとなりました。

この助成金は、会員から拠出の「シルバー基金」の利息を市町村老ク連(単位ク含む)の活動活性化のために生かす事業です。

市町村名	実施する事業			左への助成額	④新規会員・クラブ増			左への助成額
	①	②	③		5人以上新規会員増クラブ	新規加入会員プラス会員増	新規設置クラブ	
鳥取市	○	○		45,000	2	2		30,000
米子市					6	1		40,000
倉吉市			○	30,000		4		40,000
境港市		○		45,000	1	10	1	115,000
美郷町			○	30,000	7			35,000
八頭町					3	11	1	135,000
若桜町					1	1		10,000
智頭町	○		○	45,000	4	1		30,000
湯梨浜町	○			30,000		4		40,000
三朝町					1	1		10,000
北栄町					4	3		50,000
琴浦町					2	2	1	40,000
南部町	○		○	45,000	5	2		45,000
伯耆町			○	30,000		8		90,000
日吉津村					2			
大山町						1		10,000
日南町	○	○		45,000		2		20,000
日野町								
江府町	○			45,000	1	2		25,000
計	5事業	3事業	7事業	390,000	37クラブ	55	3クラブ	765,000





先へ働き掛けて、制度変更で作ったクラブです。団体の為に活動するのは無く、目的を持って活動する団体。女性の方も多く会員の支援があり、私が会長を引き受けました。



男性リーダーの高齢化で一度消えたクラブを女性が会長になり再度立ち上げられ、男性にも声かけをして共に活動を始めたクラブもあります。男女共生の社会。女性が「後は私にまかせて」と自身がりーダーとなり、男女共に協力し魅力のあるクラブを作ってみては如何でしょうか。

女性よ立ち上げられ！積極的に行動しましょう。

### 認知症予防運動「コグニサイズ」の進め

平成27年8月4日倉吉体育文化会館で百十四名が参加し、健康づくり・介護予防の研修会を行いました。今年度も鳥取大学医学部社会医学講座病態運動学分野准教授・医学博士の加藤敏明先生に講義をお願いし、加藤朋子先生に実技をしていただきました。



今回の研修会の「コグニサイズ」とは、認知を意味するCognitionと運動を意味するExerciseを組み合わせた「認知症予防プログラム」を表現する造語です。認知症予防の運動は、日常生活活動がまず重要、よく歩く！1日30分に速歩も入れて、筋力運動とバランス運動も重要、脳を鍛えながら運動するコグニサイズを意識し、継続して行うことが大切であることを学び、実技でコグニサイズの基本のウォーキングや筋力運動など脳を刺激しながら参加者全員、一生懸命取り組み研修を終えました。

### 環境リサイクル事業 研修会

平成27年9月28日倉吉市上灘公民館で31名が参加し研修会を行いました。



今年度の環境リサイクル事業研修会は、県老ク連企画委員会で作成した「ゴミを出さないエコ方法」について、公益社団法人鳥取県栄養士会の鍛冶木いづ子会長に講演と実習をしていただきました。普段は捨ててしまう梨の皮、梨の芯、えびの殻、ブロッコリーの茎、なすのへた等使った調理を実習し、限られた時間でしたが、グループで協力し合っ

### 県老連と市町村老連との意見交換会

平成27年10月26日(月) 倉吉体育文化会館 19名参加  
平成27年11月4日(水) 米子コンベンションセンター 27名参加

### 高齢者健康運動会

福つり・玉入れなど競技を通して健康づくりや仲間づくりを東部・中部・西部会場で行いました。

**東部** 平成27年11月5日(木) 県民体育館 参加者 760名

**優勝** ホールインワン 鳥取市河原町チーム

**中部** 平成27年10月30日(金) 倉吉体育文化会館 参加者 650名

**優勝** 大玉ころがし 琴浦町Aチーム

玉入れ 琴浦町Bチーム

**西部** 平成27年10月6日(火) 米子市産業体育館 参加者 1,071名

**優勝** ボール送り 伯耆町Aチーム

玉入れ競争 境港市Bチーム  
大玉ころがしリレー 日吉津村チーム  
応援合戦 最優秀賞 境港市



平成27年度

### 全老連会長表彰 受賞者

全国老人クラブ大会  
(静岡県静岡市)

平成27年10月28日・29日

### 【育成功労表彰】

小原 大忍 (岩美町)  
碓井 悟 (境港市)

### 全老連活動賞

【ボランティア活動部門】  
「100万人会員増強運動特別賞」  
境港市ことぶきクラブ連合会

### 県老連会長表彰

平成27年9月2日、県民総合福祉大会が米子コンベンションセンターで開催され、鳥取県老人クラブ連合会会長表彰の授与がありました。会長表彰の被表彰者は13名、団体表彰1団体、感謝1名が受賞されました。感謝の部では前会長の今岡祐一様に沖田会長から壇上で授与されました。

### 広報委員

- |      |              |
|------|--------------|
| 委員長  | 山下 宣昭 (湯梨浜町) |
| 副委員長 | 吉田 齊 (八頭町)   |
| 委員   | 沖田 博敬 (鳥取市)  |
| 委員   | 高橋 健治 (日吉津村) |
| 委員   | 知久馬三子 (三朝町)  |
| 委員   | 安達 幸男 (南部町)  |
| 委員   | 相見 寿子 (鳥取市)  |
- 東部地区代表 県老連理事  
中部地区代表 県老連理事  
西部地区代表 県老連女性委員長

### 編集後記

27年の年末が迫り会員の皆様、ご支援いただいている組織の各位におかれましては、ご多忙の年末と存じます。昨年は県老ク連50周年記念式典および記念誌発行にあたり、大変なご協力をいただき感謝いたしております。  
広報委員会は数次の会合で、微々たる活動ですが、市町村老ク連のご協力で広報紙の編集・発行をいたしています。今後とも広報紙の充実に努めてまいります。よろしくご協力をお願いします。(副委員長・吉田齊)

## 老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

### 1 傷害保険 総合型

自分がケガをしてしまった時の保険です。



例えはこんな時  
買物の帰り、荷物が多すぎて、転んでケガをしてしまった。  
クラブ活動中だけでなく、日常生活のケガも補償します。

### 2 傷害保険 活動型

クラブ活動でケガをした時の保険です。



例えはこんな時  
クラブ活動でゴルフの練習中に転んで膝を挫いてしまった。  
クラブ活動中とその往復上のケガを補償します。

### 3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。



例えはこんな時  
公民館の清掃中、玄関の電灯交換中に誤って、電灯カバーを壊してしまいました。



例えはこんな時  
クラブ活動のボール体操で、相手の顔にボールをぶつけてしまい眼鏡が壊れて顔にケガをさせてしまった。

対象：老人クラブ会員なら、年齢制限もなく誰でも加入できます。

補償範囲：総合型と活動型の2種類

掛金：(総合型) 一人掛金年額 3,500円、5,000円、10,000円  
(活動型) 一人掛金年額 500円、1,000円、2,000円

お支払いする保険金：死亡・後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ) / 入院保険金 / 手術保険金 / 通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

中途加入：地元の老人クラブを通して、1年中いつでも加入いただけます。

補償範囲：○老人クラブ活動中の対人・対物(損壊)の損害補償(車等の事故は、対象外)  
○管理下財物の盗難・紛失等  
○初期対応費用・訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)付帯  
但し、往復上の事故およびご自身のケガは対象になりません。

掛金：クラブの全会員数×100円 [申込クラブの全会員数が30名未満の場合は、最低引受保険料3,000円を払込みください。]

支払限度額：1億円 ※お支払いされる保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。

保険期間：毎年10月1日(午前0時)～翌年10月1日(午後4時)までの1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償責任専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。  
加入時に会員名簿の提出は必要ありません。

中途加入：「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」は可能です。  
・「新規加入クラブ」：毎月15日までに掛金の払込みで翌月1日からの加入となります。但し、保険期間は直前の10月1日までとなります。  
・「会員追加加入」：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。

## 公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区豊が岡3丁目6-14 三久ビル102号

◆最寄りの市町村老人クラブ連合会にお願いいたします。  
◆不足の場合は市町村老連を通して下記までご連絡ください。

加入申込書等、資料請求先 **専用FAX 03-3597-8767** お問い合わせ先 **03-3597-8770**

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 検索 [検索](#) メールアドレス [hoken@senior-ltd.com](mailto:hoken@senior-ltd.com)

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険のご案内」/「プレット」/「概要」/「ご加入の際の注意事項」等をよくお読みください。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。